



辻川だより

第41号 [2017春号] 平成29年4月1日発行

発行 辻川区 [辻川公民館]
〒679-2204 福崎町西田原 1227
TEL 0790-22-5763
ホームページ http://www10.plala.or.jp/tujikawa/public_html/



1/8 冬えびす 16 隣保奉納

就任の挨拶
区長に任命され早や二ヶ月が過ぎましたが、未だに不安と戸惑いの試行錯誤の日々です。協議員も大半が入れ替わり、期待とモチベーションを高めスタートいたしました。

区長 鈴木健文
さて、辻川区はこの自治会よりも先駆けて多彩な事業・行事に取り組み、文化財にも恵まれ、観光スポットとしても脚光を浴びており、自他共に誇れる福崎町の中核自治区であると思えます。

是も、ひとえに釜坂前区長を始め諸先輩役員並びに区民の方々のご理解とご協力の賜物です。私共も是に恥じぬよう区民の皆様方の期待に添えるように全身全霊取り組んで参りますので宜しくお願い申し上げます。

これからは「声かけ・挨拶」が何時でも誰とでもでき、地域の協働体制強化、新旧住民のコミュニケーション活性化、交流を更に深めていきたいと思えます。



1/15 大雪の鈴の森神社と狛犬



3/4 新妖怪「山の神」登場

4/29 第3回辻川グランドゴルフ大会
★ 8時～受付 8時30分開会（雨天中止）
★ 会場：辻川山の町民第1グランド
★ 一般・ジュニア個人戦；各1～5位賞品
★ 全ホールにホールインワン賞
★ 全員に参加賞進呈

会員募集のお知らせ
新規入会者を募集しています。
〔日時〕 火曜日と金曜日
9時～10時30分
〔場所〕 第二グランド
辻川グランドゴルフ同好会
代表 細川健二（20 隣保）

《当面の予定》
4月8日(土) 辻川界隈展
民俗辻川広場まつり協賛
4月29日(祝) 第3回辻川グランドゴルフ大会
5月21日(日) 薄普請
6月 フラワーポット植替
7月1日(土)

今年も4月の辻川広場まつりに合わせて「辻川界隈展」を開催。受付は10時から先着1500名。完歩者には参加賞用意。チェックポイントでは昔の遊び体験も。奮ってご参加ください。

★辻川界隈展の内容は？
今年も4月の辻川広場まつりに合わせて「辻川界隈展」を開催。受付は10時から先着1500名。完歩者には参加賞用意。チェックポイントでは昔の遊び体験も。奮ってご参加ください。

協議員会は今
2・3月の協議員会での報告・検討内容を一部紹介します。
① 自主防災訓練内容確認
② 界隈展を今年も民俗辻川広場まつりに併せて開催。文化委員を中心に準備
③ グランドゴルフ大会内容確認。準備は体育委員を中心に
④ 28年度自律(立)のまちづくりの交付金事業のまとめ
⑤ 鈴の森神社拝殿一部の傷み確認と修理に向けての準備
《お知らせとお願い》
★辻川区運営が新体制に
本年度より新しく、各ブロックから選出された協議員による、今までの以上に地域密着型の運営が始まりました。

祭礼行事報告
◇1月1～3日 正月祭り
◇1月8日(日) 冬えびす
冷たい小雨の中、30余名の参拝者が地域の元気と平安を祈願した。
◇1月14日(土) とんど
最高気温5℃、最低気温氷点下3℃、雪の舞う寒い一日であったが、「とんど」で温まった。お世話いただき宮当番に感謝しつつ、住民主体の年中行事の継続を願った。

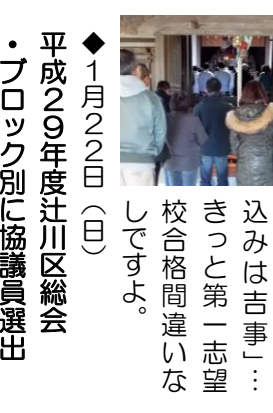


2/3 歳灯
◇2月12日 初午祭
今年も参拝者に赤飯おむすびとミカン、温かいぜんざいが振る舞われた。恒例の高藤稲荷子ども相撲は残念ながら5名のみ参加であった。福引がなくなった今、何とか地区の伝統として秋場所(秋祭り宵宮)同様この「春場所」も元気にしたい。



事業報告
◆12月3日(土)
隣保長・各種団体役員会議
平成28年1月1日現在、70歳以上の独居者は消防費が15000円
② 年末助け合い運動・人形・お札の協力依頼
③ 協議員選挙に向けて各隣保内選挙人名簿の確認依頼
④ 次年度事業としての要望内容紹介：■11 隣保から放送設備増設を今後40軒増の予定のためゴミステーション増設とセットで計画 ■14 隣保から辻川山山裾の環境整備を次年度、方法を検討したい。
◆1月8日(日)
鈴の森神社合格祈願祭
今年で4回目の辻川区主催の祈願祭に、辻川から11名、区外から5名の中学3年生をはじめとする受験生と関係者が参加し、本殿でのご祈祷と絵馬奉納を行った。当日はあいにくの冷たい雨であったが、「降り込みは吉事」：きつと第一志望校合格間違いなしですよ。

◆1月22日(日)
平成29年度辻川区総会
ブロック別に協議員選出
9名の出席。第1～5号議案承認。5号議案(自治運営規約改正)ではブロック長の位置づけ、区長等役員の出選や役割等現状に即した改正提案がなされた。地租制に関する質問に対しては、明治時代からの古い区分割(辻川区民が他地区に割り



を支払っている現状)やしきたりが続いており、田原区長会としては廃止の方向を向いているが、検討は進んでいないとの回答があった。ごなたが猫の首に鈴を付けるのだろうか。
新たな方法による協議員選挙は区全域から新任6名を含む10名が選出された。とはいえ、投票率は約43%(前回は41%)と相変わらず低く、投票率アップ対策が次回への課題として残された。なお、新区長には前副区長の鈴木健文氏を選出された。
その他報告として、鈴の森神社駐車場の一部を区として利用希望者と賃貸契約を交わしたこと等の報告があった。

◆1月28日(土)
新隣保長会議
① ブロック長の選出
② 隣保編成(隣保軒数確認)
③ 町内会費徴収について
④ 2～4月行事・事業確認
〔確認〕◎隣保長への配付物は、原則として毎月第一・第三週末にブロック長経由で届く。◎とんど・歳灯は宮当番が事前に消防署と役場生活安全課に電話連絡を。

◆3月5日(日) 消火栓訓練
春の火災予防週間に合わせて、ブロック単位で消火栓放水訓練を実施。消防団員の分りやすい指導の下、今までになく多くの住民110名が参加。ブロックの意識が高まった。



ブロックの意識が高まった。

ブロックの意識が高まった。

ブロックの意識が高まった。

ブロックの意識が高まった。

平成29年度 辻川区役員一覧 (3/21現在)

〔総世帯 354軒〕

区長 鈴木 健文
副区長 植田 弘造 (総務)
会計 前田 亮平

協議員 (主な担当) 【選出ブロック】

- 松岡 信孝 (土木) [1]
- 村井 吉典 (環境) [1]
- 鈴木 智久 (体育) [2]
- 尾花 洋一 (環境) [3]
- 松本 信裕 (広報) [4]
- 埴岡 政秀 (文化) [4]
- 吉田 和弘 (広報) [5]
- 井上 良宣 (文化) [5]

8隣保担当
〔会長〕中村 武嗣 (第3ブロック)
女性部 堀 節子
商工部会 植田 弘造
農業部会 上延 英一
消防団 箕野 真実
青年団 多田 凌輔
小学PTA 松岡 亮
中学PTA 中西 宏之

団体役員 (代表のみ紹介)

- 老人会 中村 哲雄 (第1ブロック)
- 内藤 隆夫 (第2ブロック)
- 〔会長〕中村 武嗣 (第3ブロック)
- 民生委員 上延ふさ子
- 福祉委員 駒田 美幸
- 岡本 徳子
- 松岡 初子
- 補導委員 堀 節子
- 人権教育推進委員 内藤 政義
- 青少年健全育成委員 鈴木 健文
- 体育普及員 井上 良宣
- 地域活性化戦略委員 上原 浩
- 文化財協力委員 山口 章範
- 田崎 正和

隣保長 (◎はブロック長)

- 1ブロック [世帯数]
 - ◎ 1 戸田 清浩 [3]
 - 2 田崎 正和 [3]
 - 3 内藤 政義 [3]
 - 4 村井 吉典 [2]
- 2ブロック
 - 4 上延 純子 [6]
 - 5 戸田 雅吉 [4]
 - 6 前田 亮平 [8]
 - ◎ 7 笹倉 昌人 [9]
- 3ブロック
 - 1 0 吉岡 邦行 [7]
 - ◎ 1 1 松岡 定英 [10]
 - 1 2 高塚慎太郎 [9]
 - 1 3 駒田 忠成 [2]
- 4ブロック
 - ◎ 8 堀 一夫 [9]
 - 9 大垣 和徳 [3]
 - 1 5 鷺田 栄一 [7]
 - 2 0 細川 健一 [2]
 - 2 1 井上 雄太 [2]
- 5ブロック
 - 1 6 青田 智浩 [10]
 - ◎ 1 7 上延 博昭 [2]
 - 1 8 中野 周子 [9]
 - 1 9 大山 昌彦 [9]

江戸時代後期の辻川と大庄屋三木家(最終回)

辻川にもあった固寧倉

1840年頃の古図(図1)では現在の2隣保の旧道と辻川山公園への新道の交差点北東に固寧倉(こねいそう)が見える。福崎地域の固寧倉は、天保14(1843)年に辻川組(注1)に8ヶ所、山崎組に8ヶ所設けられたとされた。この年には姫路藩内92ヶ所に固寧倉があったという。最盛期の弘化3(1848)年頃には姫路を中心に288ヶ所に存在したとされたが、現在は神崎郡と姫路市の8

ヶ所に建造物(写真1・2・3)などの遺構が残るのみである。固寧倉は江戸時代後期に姫路藩が整備した非常用食糧備蓄倉庫で、近在の庄屋、富裕層から穀物などの提供を受け1809(文化6)年頃発足する。姫路藩では天保の大飢饉(注2)

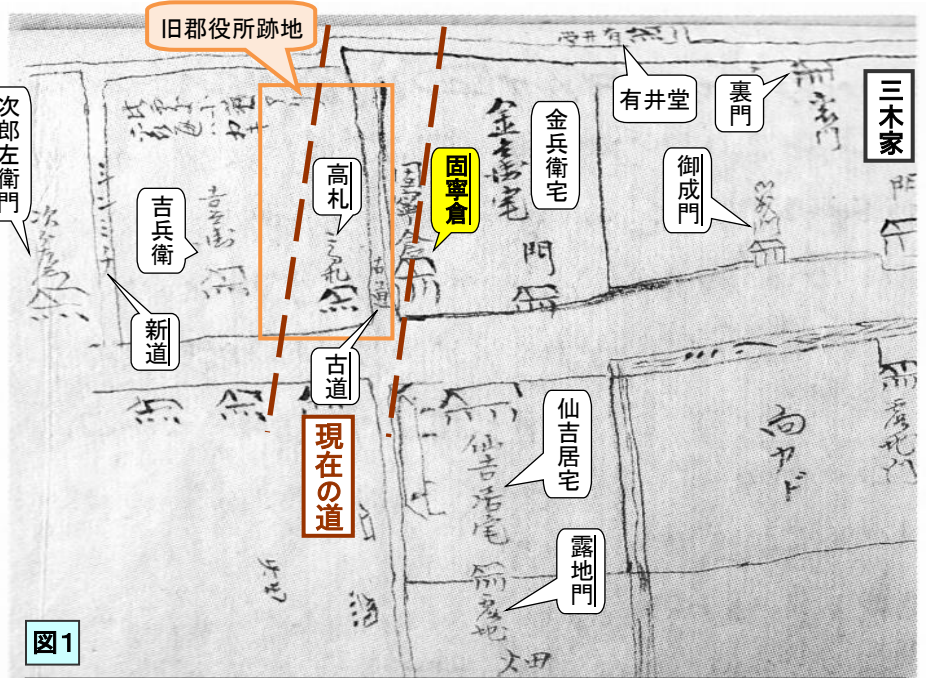


図1

1840年頃の古図 広報ふくさき 2013年3月号 大庄屋三木家よもやま話第83話より

三木家文書「諸事控 四番」より

略)◆備蓄は自発的に行われた。阪神・淡路大震災後、全国に広まった自主防災組織の原型といえるかもしれない。穀物は飢饉から多くの民を守り、平時には低利で貸し付けられた。(中略)◆固寧倉の名称は中国の古典「書経」の一節に由来する。「民惟邦本、本固邦寧(民はこれ邦の本(もと)、本固ければ邦寧(やす)し)」。まずは民の暮らしをしっかりとさせる」という領民優先の哲学に裏打ちされている。(後略)【注記】

おわり



写真3

姫路市東山の固寧倉

写真は地元の橋本久美子氏提供

(注1)当時の辻川組は、吉田・西田原・東田原から北へ現市川町の市川東側地域(牛尾・瀬加・田中・小畑・浅野・川辺)など21カ村から成っていた。

また、隣接する大庄屋組には山崎組(市川西側の福崎や現市川町西南部の各村)・余田組(現八千種各村や山田など)・御立組(吉田を除く南田原から姫路市北部(船津・豊富・砥堀)までの22カ村)があった。当時、辻川組大庄屋の三木家は現市川町・姫路市北部にまたがる五組(神東郡御立(前八反田)組・余田(前大貫)組・辻川組・神西郡須加院(前田野、その前は犬飼)組・山崎組)全体を

統括する大庄屋であったとされた。(注2)天保(1830)~(1844)の大飢饉(1833)~(1839)。長雨・冷害による。

〈辻川と大庄屋三木家第二回(399号)〉第四回(41号)の参考・引用文献

- ・福崎町史第一巻・第三巻・第三巻付図「明治廿四年市川実測図」
- ・広報ふくさき「大庄屋三木家よもやま話」第14話(2006年7月号)・第15話(2006年8月号)・第83話(2013年3月号)
- ・山崎善弘「三木家と姫路藩主・元家老との文化的交流について」2011年3月
- ・平成25年度歴史民俗資料館連続講座④山崎善弘「姫路藩大庄屋制の性格―大庄屋三木家文書を素材として―」2013年11月
- ・三木家文書「諸事控」文化八年(1811)~文政三年(1830)
- ・三木家文書「諸事控 四番」天保八年(1837)~
- ・神崎郡歴史民俗資料館図録No.6「20世紀の福崎」2000年特別展・同図録No.16「姫路藩とふくさき」平成22年度特別展

編集後記

少子高齢化が益々進行していますが、沖繩に「五十、六十は花ならつほみ、七十、八十は働き盛り、九十になって迎えに来たら、百まで待てと追い返せ」という古い数え唄があるそうです(秋坂真史著「気がつけば百歳」)。辻川区の自治会活動や辻川界隈「辻川山の文化・観光対策も「つほみ」と共に「働き盛り」の知と力がまだまだ必要と感じたこの十年でした。(田崎)

福崎町福田の固寧倉



写真1



写真2

姫路市野里の固寧倉